

第3回 体育施設（三漕・城島地域）指定管理者候補者選定委員会 会議録

日時：令和元年11月18日（月）9：00～12：40

場所：荘島体育館 会議室

出席：大橋充典委員、石井寿佳委員、陣内博委員、西村信二委員、水落留美子委員
（全員出席）

開会

委員長挨拶

経過報告

議題（1） 第1次審査（書類審査）

議題（2） 第2次審査スケジュールについて

議題（3） 第2次審査（プレゼンテーション審査）

議題（4） 選定会議

閉会

経過報告

事務局より第2回選定委員会以降の経過について説明。

- ・応募状況について11月4日の締切時点で2団体の申請があった。

議題（1）第1次審査（書類審査）

書類審査・資格審査（P2、P3）について事務局より説明

資格審査について、暴力団との関係について警察に照会し、11月13日にすべての団体について問題がない旨を確認したことを報告。

→原案のとおり承認

議題（2）第2次審査スケジュールについて

・タイムスケジュール（P4）について事務局より説明

→ 意見・質問 なし

・質問事項（P5）について事務局より提案

→ 意見・質問 なし

議題（3）第2次審査（プレゼンテーション審査）

（※質問及び回答は要旨）

【A団体】

《委員質問・意見》

スポーツに関する技能・知識を持ったスタッフとは、具体的にどのような人材を考えているか。

《団体回答》

健康運動指導士、健康運動実践指導者、水泳C級指導員、防火管理者などの資格者を考えている。また社内で独自のパーソナルトレーナーの育成を行い、民間のジムレベルの指導を行えるスタッフの育成に取り組む予定である。

資格を有しているということも大切だが、お客様との接し方が一番大切であると考えており、そういった面も研修を行いたいと考えている。

《委員質問・意見》

総合型地域スポーツクラブとの連携は具体的にどのように考えているか。

《団体回答》

自主事業の教室に関して総合型と競合しないように空き時間で運営していく。教室の内容についても、総合型が取り組んでいない事業を展開していく。また総合型クラブの事業について、会場確保や準備運営などサポートを行う。

《委員質問・意見》

人件費の積算根拠は。

《団体回答》

人件費の算出には、現在運営している類似施設を参考にして算出している。また B&G プール・艇庫等の営業期間の縮小などを勘案して、これまでの実績よりも抑えた金額にしている。

《委員質問・意見》

有資格者の雇用について、現実的に確保できる見込みはあるか。

《団体回答》

体育施設を複数管理運営しているので近隣にも各種資格を有した元スタッフがいる。また社員にも出向という形で現場に入ってもらおう。

《委員質問・意見》

運動継続率を上げるためのノウハウについて意見を聞きたい。

《団体回答》

お客様に寄り添い、その人に合った運動プランの提供が大切だと考えている。

また自社開発した予約管理システムを導入し、顧客の運動状況などニーズに合わせたサービスの提供を行っていきたい。

《委員質問・意見》

管理人が常駐していない体育施設もあるが、危機管理体制についてはどのように考えているか。

《団体回答》

会社独自のチェックシートを作成し、巡回チェックを実施する。

【A団体 プレゼンテーション終了】

【B団体】

《委員質問・意見》

次期指定管理者となった場合、まず何から着手していくか。

《団体回答》

今回の募集要項で修繕費の底上げが示されているとおり、計画的に老朽施設の修繕を行っていききたい。具体的には体育館の照明、床材の修繕などの経年劣化によるものの修繕を行いたい。

《委員質問・意見》

地元の総合型地域スポーツクラブとの連携についてどう考えているか。

また自主事業で施設利用が重複する場合はどうするか。

《団体回答》

総合型クラブとは定例会を行い、情報を密に共有することを一番に考えている。また障害者スポーツの分野にも積極的に参画していききたいと考えており、総合型クラブと積極的に連携していききたい。施設利用が重複する場合には、総合型クラブの活動を優先に調整を行う。

《委員質問・意見》

自主事業について、課題や今後の展望について意見を聞きたい。

また外国人利用者への対応についてどう考えているか。

《団体回答》

自主事業について、例えばB&G艇庫などの利用率の低い施設については、実際に艇庫に来て、見て、体験してもらえるように、艇庫で実施できる自主事業を展開していききたいと考えている。

外国人への対応については、今後外国人居住者の増加や、国際交流、国際大会なども考えられる中、タブレット端末での利用案内や翻訳アプリの活用を考えている。当グループが管理運営する体育施設の中には実際にタブレット端末を導入しているところもあり、グループ間でそのノウハウを活かし本体育施設の運営にも活かしていきたいと考えている。

《委員質問・意見》

公の施設の管理運営をするなかで、最も大切にしていることは何か。

《団体回答》

平等・公平を心掛けている。公共施設として、条例や規則、市の施策の中で平等性、公平性を遵守して広く利用してもらうことが重要だと認識している。

《委員質問・意見》

・今後5年間を運営するとして、現状の課題は何か。また体育施設の全市展開についてどのように考えているか。

《団体回答》

みづま総合体育館が出来た当初はプロモーションをしなくても、プロバスケットボール大会など大規模大会開催のオファーがあったが、今後も継続して三瀧城島地域や久留米市西部地域の活性化をするためには、みづま総合体育館をはじめとして大規模大会誘致の営業をしていく必要性を感じている。また久留米アリーナと連携して、複数会場を使うような大きな大会を誘致していききたい。

《委員質問・意見》

健康運動指導士など資格を有したスタッフは、利用者とどのように関わっているか。

《団体回答》

トレーニング室での指導で活躍している。初心者から上級者まで利用者のレベルに合わせたトレーニング方法の提供や、栄養に関する話など幅広く携わってもらっている。また地域の健康教室派遣事業も行っている。

現在は健康運動指導士が2名、健康運動実践指導者が1名在籍しており、有資格者が他のスタッフに向けて研修をすることもある。

《委員質問・意見》

利用者の運動継続率の維持向上のために対策はどう考えているか。

《団体回答》

利用者の足が遠のく要因のひとつがトレーニング機器や施設の老朽化だと考えている。

トレーニング機器が故障しても、使用中止が長引かないように修繕費の予算の範囲内で、優先度をつけ迅速に修繕を行いたい。

《委員質問・意見》

体育館でのイベントの広告宣伝について、具体的な提案はあるか。

《団体回答》

近隣の小学校の協力を得てイベントの告知をさせてもらっている。児童の参加のみならず、子育て世代の保護者にも興味を持ってもらえ、イベント参加人数が上昇している。また今後はSNSや地域雑誌の活用も計画している。

《委員質問・意見》

施設の危機管理についてはどのように考えているか。

《団体回答》

全施設について定期巡回を行います。

またトレーニング機器については定期巡回時に職員がチェックし、事故が起こらないように気を付けています。

【B団体 プレゼンテーション終了】

議題(4) 選定会議

①評点(採点)について

②優先交渉権者の決定について

各委員の採点后、事務局より集計を行い、その結果を報告した。

《委員長》

集計結果のとおり、B団体を優先交渉権者とする。またA団体においては審査項目の一部が最低基準点に達していなかったため、第2順位候補者にはならない旨を確認した。

③講評について(要旨)

- ・結果として一方の団体については基準を満たさない項目があったが、どちらの団体も評価結果にほとんど差がないプレゼン内容だったと思う。
- ・A団体は、収支計画について、特に人件費が著しく抑えられた計画となっており、今後5年間での安定的で適正な人材確保について些か疑義がある。
- ・優先交渉権者に選ばれた団体には、利用料金収入の減少などに課題意識を持ちながら、改善を目指していただきたい、また新しい自主事業等の期待をしている。
- ・人口減少や高齢者の増加に関する問題、また児童のスポーツ離れに関する問題など、体育施設にも関係する諸問題が久留米市にもある。それらに配慮した取り組みを期待したい。
- ・今日のプレゼンを聞く中で、体育施設の様々な課題が再認識できた。市も次期指定管理者と協働で、安全安心な施設づくりを目指して今後改善をしていただきたい。
- ・次の5か年の指定管理を担う団体には先々を見据えた管理運営を期待したい。

閉会

— 第3回選定委員会 終了 —